

生まれつきの病気や老齡、またはその他いくつかの原因で、この世界で誕生したものは腐敗鞘（ヨーガでは鞘とはコーシャで身体のこと。魂をまとう鞘だとしています）に進化することもあります。その腐敗を取り除き、活力のある体をお与えくださいます。彼はすべての子供たちをすぐにガンジスのロータス（蓮の花）坐へ連れてゆき潤いと願望の愛を注ぎたいと思っています。彼自身のミサイル、パシュパターシュトラはどれ程の大きさでしょうか！途方もない速度で勇敢なものに放たれます。彼はなんと憐み深い方でしょう！愛情深く親切な方でしょう！彼の首には花輪と信者の頭骸骨を身に着けています。彼は放棄慈悲愛そして知恵の化身です。彼が破壊者であるというのは実際のシヴァ神は再生者です。

主ハリよりも、彼（シヴァ）を喜ばせる方が簡単です。少しの献愛やオーム、シヴァのマントラを与えられることを望んでおられます。真実の目でわたしたちを解脱のムールッティへと導きます。

ラジャス（激質）とタマス（闇質）がこの世界の象徴ですが、彼はサットヴァ（純質）を持ち三つのグナ（性質）を支配しています。左手のダマルはシャブダブラフマンです。すねての言語が形成される「Om」を表しています。ダマル音からサンスクリット語を形成したのは彼です。プラナヴァ Om は主の外形を表しています。イネのような、穀付き米のような形）です。内形は米の形でパンチャクシャラと呼ぶ「ナマシヴァヤ」のマントラのことです。na・ma・si・va・ya の5つ音は主の行動を示しています。スリスティ（創造）、ステイティ（維持）、サンハラ（破壊）、ティローダナ（ベール）、アヌグラハ（祝福）。マントラの意味は「シヴァ神に平伏します」です。マントラ7千万の中で最高のマントラです。  
どこまでも褒め称えが続きますね～ （3）

ヤジュルヴェーダ（祭祀の執行法を綴ったもの）には7つのスカンダ（支柱）があります。「ナマシヴァヤ」マントラはその中心にあつて輝いています。このマントラを繰り返すことですべての障害と苦しみを取り除かれ、永遠の至福と不滅がもたらされます。シヴァ神は帰依者のもとへ行きます。…（中略。多くの献身的な詠唱や献愛の信仰心、行動へシヴァが起こした奇跡のエピソードが語られています）。

彼は哲学者でもヨーギーでもありませんでしたが、進歩者に熱心に献身していました。カーストがなんであれ、奉仕が何であれ、誰でも主芝の恩寵を得ることができたことがはっきりと理解できます。主シヴァの御名を、はっきりと理解できなくても、正確、不正確、故意に、無意識でも慎重、不注意問わず、どのような方法で唱えても確実に望ましい結果が得られます。

主シヴァの御名の栄光は理屈や知性によって確立しません。それは献身的に、愛の心と共に唱え歌いさんびすることによってのみ体験または実現します。無数の潜在能力またはシャクティ（湧き起こる力）で満たされていきます。名前、祈りの力は計り知れません。言葉では言い表せません。さあ、皆さんシヴァの参加を歌い、恩寵と救いの未知の未来ではなく、まさに今この瞬間に得なくてはなりません。簡単にシヴァを喜ばせることができます！シヴァラトリの日に断食をして、あるいはミルクとフルーツを摂ってください。一晩中よく気をつけて、彼の栄光を歌い、Om nama śivaya を繰り返しましょう！

皆さんの上にシヴァの栄光が祝福が注ぎますように！

と、ここまで。今月は簡易訳ですが、シヴァーナンドラさんが今月のマガジンの中で語ったシヴァラトリの栄光を紹介しました。